

関東大会出場 壮行会（５月３１日）校長挨拶要旨

みなさんこんにちは。

ソフトテニス部、バドミントン部、陸上競技部の皆さん、関東大会出場誠におめでとうございます。一度に３つの部活動が県大会を通過して更に上位の大会に出場することに大きな喜びを感じています。そして、このような成績を上げた選手一人一人の努力と、それを支えたそれぞれの部活動の部員の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。皆さんは、本校部活動の誇りです。関東大会においても為桜学園の名を轟かせていただきたいと思います。



さて、出場する皆さんに一つだけ確認したいことがあります。関東大会に出場できて満足していますか。

私は、こう考えています。どのような試合であっても、その大会に出場することが目標であった場合、既に目標を達成しているので、心の中に一種の緩みが生じてしまい、本来の実力を発揮することができないまま、その大会を終えることになります。出場したその大会で入賞するとか、優勝して全国大会に出るという明確な目標を持たなければ良い結果を出すことは難しいのです。なぜなら、関東大会等に出場する常連校、強豪校と呼ばれる学校は、出場することだけを目標としていません。大会に出場することが当たり前と思っています。さらに、必ず勝って結果を出すことを目標としています。モチベーションが違うのです。このような相手と戦うのですから、出場しただけで満足しては、まともな勝負はできません。自分たちにできる準備をしっかりと整えて、ベストコンディションで試合に臨んで欲しいと強く願います。為桜魂を持つ皆さんの健闘を期待して応援の挨拶に代えます。



【関東大会出場者】 所属クラス・氏名・出身中学

女子ソフトテニス部 県ベスト⑩

３の１ 近藤 未空 三和

２の４ 葛貫 亜優 猿島

３の３ 長谷川 真紀 三和

２の５ 山本 京伽 三和

※ ２の４ 葛貫亜優さんは、第４７回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス２０１８（６／２０－６／２４、札幌）の女子シングルス部に出場が決定しました。この大会は、都道府県の各１位のみが出場できる大会で、インターハイよりも出場が難しいと言われている全国大会です。葛貫さんは、３月に行われた茨城県予選において第２位となり、県代表は逃しましたが、全国から１０名選出される主催者推薦枠で見事出場権を獲得しました。全国の精鋭との真剣勝負をしてきて下さい。

男子バドミントン部 県団体4位

3の2	倉持 瑞輝	八千代・東	3の2	坪松 光	明野
3の1	古宇田 紫月	東部	3の3	木村 武央	石下
3の3	鈴木 達也	三和	3の4	高谷 嵐之介	八千代・東
2の4	萩原 一成	結城東	2の6	香取 慶哉	御所ヶ丘

陸上競技部 男子総合 県2位

3の3	福田 哲史	下妻	棒高跳・県1位
3の3	青木 皓平	下館南	走高跳・県2位 三段跳・県5位
3の2	猪又 雅史	下妻	5000m競歩・県2位
2の1	堀井 奏音	下妻	女子5000m競歩・県2位
3の4	馬場 柚希	八千代一	女子5000m競歩・県3位
2の5	小竹 巧真	八千代一	5000m競歩・県4位
2の7	岡野 太一	水海道西	400m・県5位, 4x400mR
2の4	新野 孝典	結城	110mH・県5位, 4x400mR
4x400mR			
3の4	田中 嶺旺	御所ヶ丘	3の2 鈴木 健太 明野
2の6	神門 研吾	千代川	2の5 堀江 瞬 下館南

